

知の市場の開講機関・連携機関としての役割

公益財団法人動物臨床医学研究所 山根義久

公益財団法人動物臨床医学研究所が知の市場の開講機関・連携機関として参画したのが2010年4月である。その当時は未だ鳥取県認可の財団法人であった。たまたま国の公益三法の改正で、その翌年2011年には内閣府認可の公益財団法人に移行した。県より国に移行したからといって基本的には事業内容に大きな変化はない。

「知の市場」に参加したのは、それ以前に有志で集って開催していた勉強会があったからである。それは、合同カンファレンスで1980年に開始し、小動物臨床研究所(1981～1991年)に引き継がれ、さらに財団法人鳥取県動物臨床医学研究所(1991～2011年)から内閣府認可の公益財団法人動物臨床医学研究所(2011年～)の一事業として継続していた。

獣医師の集まりである合同カンファレンスが2010年より「知の市場」の科目として再開始してからは、従来の獣医師のみというしほりを除き、動物看護師をはじめ動物関連分野の人々も広く受け入れることになり、幅広い活動展開が可能になった。その効果は、当公益財団の実施している事業内容をより幅広い多くの人々に知って頂く良い機会でもあり、さらに違った立場での貴重な意見を拝聴することができる機会でもあり、当公法人にとっても大いに有益である。

いくら当公法人の社会貢献云々と言っても、社会に広く知って頂けなければ意味がない。知の市場として開講してから6年目になりその効果が目に見えてきており、今後のさらなる発展を大いに期待している。

以下に現状の当公益財団法人が実際にやって来たこと、今後やろうとしていることをまとめた。

<主な事業>

- (1) 獣医学に関する臨床的研究(医療技術の開発、医薬品開発のための臨床試験)
- (2) 獣医学に関する学会、研究会、セミナー等の開催
 - ・ 週例カンファレンス
 - ・ 知の市場「合同カンファレンス」(月1回)
 - ・ 小動物臨床血液研究会(年2回)
 - ・ 動物臨床医学会年次大会(年1回)
 - ・ 東京シンポジウム(年2回)
 - ・ その他(卒後教育セミナー 等)

(3) 獣医学に関する出版物の発行

1) 定期出版

- ・学術雑誌「動物臨床医学」：年 4 回
- ・動物臨床医学会年次大会プロシーディング (No.1~5)：年 1 回
- ・知の市場「合同カンファレンス」冊子：年 10 回
- ・会員向け小冊子「ミューズ」：年 2~3 回
- ・「野生どうぶつ友の会」ニュースレター「Pinyo」：年 2 回
- ・「人と動物の会」ニュースレター「アミティエ」：年 2 回

2) その他の出版物

- ・循環器疾患 100 症例〔平成 2 年 11 月発刊〕
- ・消化器疾患 100 症例〔平成 4 年 11 月発刊〕
- ・ケースレポートとクリニカルディスカッション〔平成 9 年 11 月発刊〕
- ・動物が出会う中毒〔平成 11 年 11 月発刊〕
- ・イヌ+ネコ 家庭動物の医学大百科〔平成 18 年 4 月発刊〕
- ・伴侶動物が出会う中毒〔平成 20 年 9 月発刊〕
- ・イヌ+ネコ 家庭動物の医学大百科 (改訂版)〔平成 24 年 11 月発刊〕
- ・イヌ+ネコ ペットのための Q&A —イヌ・ネコからウサギ・ハムスター・インコ・カメ・フェレットまで—〔平成 27 年 12 月発刊〕
- ・新胸部疾患〔平成 28 年度発刊予定〕

(4) 獣医総合臨床認定医制度の確立

(5) 動物愛護思想の啓発普及

- ・動物保護施設 (アミティエ) の管理運営
- ・里親制度の推進
- ・しつけ方教室の開催
- ・青少年に対する情操教育
- ・雑誌、新聞等を介しての動物医療相談と動物愛護の啓蒙普及活動

(6) 獣医学及び医学に関する学術・研究活動の支援

- ・学会、各種講演会への出席奨励と支援
- ・研究成果発表の奨励と支援
- ・学術論文の作製と投稿の奨励
- ・心電図解説サービス

(7) 企業・学術研究組織・大学等からの試験研究の受託及び共同研究

(8) 研修受け入れ及び、獣医療従事者の養成

(9) 傷病野生鳥獣の保護管理及び治療

(10) 盲導犬育成及び貸与 (2 年に 1 頭)

(11) 野生動物保護管理基金の運営

(参考)

2010年度開講内容

前期<4日間(15科目:2単位)>

■2010年4月25日(日)9:30~15:10【3科目】

- ・はじめに：臨床獣医学研究のあり方 講師：山根義久（日本獣医師会）
- ・症例検討(1)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(1)：内科的疾患の検討

■2010年5月30日(日)9:30~16:50【4科目】

- ・眼の疾患：犬と猫の角膜疾患の診断と治療 講師：山形静夫（山形動物病院）
- ・肝臓の外科：肝臓外科領域における小動物の麻酔管理
講師：小出和欣（小出動物病院）
- ・症例検討(2)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(2)：内科的疾患の検討

■2010年7月25日(日)9:30~16:50【4科目】

- ・蜜蜂の生態：獣医学と蜜蜂 講師：手塚泰文（東京都獣医師会）
- ・外分泌系疾患：イヌ胆嚢疾患の臨床 講師：宇野雄博（宇野動物病院）
- ・症例検討(3)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(3)：内科的疾患の検討

■2010年8月29日(日)9:30~16:50【4科目】

- ・動物のリンパ腫：リンパ腫の基礎知識を再認識しましょう
講師：下田哲也（山陽動物医療センター）
- ・動物産業：動物関連産業の今後 講師：望月和美（コジマ）
- ・症例検討(4)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(4)：内科的疾患の検討

後期<5日間(15科目:2単位)>

■2010年9月26日(日)9:30~15:10【3科目】

- ・画像診断：動画で見る心エコー検査 講師：山根 剛（米子動物医療センター）
- ・症例検討(1)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(1)：内科的疾患の検討

■2010年10月31日(日)9:30~15:10【3科目】

- ・ウサギの臨床：ウサギ歯科の基礎と過長症 講師：加藤 郁（加藤どうぶつ病院）
- ・症例検討(2)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(2)：内科的疾患の検討

■2011年1月30日(日)9:30~15:10【3科目】

- ・耳の疾患：耳血腫の治療に迫る：インターフェロン局所注入療法の検討

講師:白永伸行(シラナガ動物病院)

- ・症例検討(3):外科的疾患の検討
- ・症例検討(3):内科的疾患の検討

■2011年2月27日(日)9:30~15:10【3科目】

- ・心臓カテーテル法:心臓カテーテル検査の有効性

講師:才田祐人(動物臨床医学研究所)

- ・症例検討(4):外科的疾患の検討
- ・症例検討(4):内科的疾患の検討

■2011年3月27日(日)9:30~15:10【3科目】

- ・循環器系疾患:心臓病の診断と内科外科的な治療

講師:高島一昭(動物臨床医学研究所)

- ・症例検討(5):外科的疾患の検討
- ・症例検討(5):内科的疾患の検討

2011年度開講内容

前期<4日間(15科目:2単位)*一部を除き1日4科目>

■2011年4月24日(日)9:30~15:10【3科目】

- ・肝臓病:肝臓検査の進め方
- ・症例検討(1):外科的疾患の検討
- ・症例検討(1):内科的疾患の検討

講師:小出和欣(小出動物病院)

■2011年5月29日(日)9:30~16:50【4科目】

- ・眼の疾患:前眼部炎症性疾患の診断と治療
- ・医薬・医療材開発:ヒト治験成功率改善に対する獣医臨床の役割

講師:井田亘隆(動物臨床医学研究所)

- ・症例検討(2):外科的疾患の検討
- ・症例検討(2):内科的疾患の検討

■2011年7月24日(日)9:30~16:50【4科目】

- ・動物産業:家庭動物に関する法律
- ・慢性腎臓病:ベラプロストナトリウム(BPS)によるネコの慢性腎臓病の治療

講師:竹中雅彦(竹中動物病院)

- ・症例検討(3):外科的疾患の検討
- ・症例検討(3):内科的疾患の検討

■2011年9月4日(日)9:30~16:50【4科目】

*台風の為中止(レポート提出により出席扱い)

小レポートテーマ「知の市場について」

後期<5日間(15科目:2単位)>

■2011年9月25日(日)9:30~15:10【3科科目】

- ・蜜蜂の生態：蜜蜂の知性、それはコロニーで発揮する
講師：手塚泰文（高島平手塚動物病院）
- ・症例検討(1)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(1)：内科的疾患の検討

■2011年10月30日(日)9:30~15:10【3科科目】

- ・脊髄疾患：犬猫の脊髄疾患の診断と治療
講師：真下忠久（舞鶴動物医療センター）
- ・症例検討(2)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(2)：内科的疾患の検討

■2012年1月22日(日)9:30~15:10【3科科目】

- ・小動物の心電図：心電図の読み方
講師：山根 剛（米子動物医療センター）
- ・症例検討(3)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(3)：内科的疾患の検討

■2012年2月26日(日)9:30~15:10【3科科目】

- ・循環器系疾患：軟部外科
講師：高島一昭（動物臨床医学研究所）
- ・症例検討(4)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(4)：内科的疾患の検討

■2012年3月25日(日)9:30~15:10【3科科目】

- ・エキゾチック動物の治療：エキゾチックアニマルの診療
講師：加藤 郁（加藤どうぶつ病院）
- ・症例検討(5)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(5)：内科的疾患の検討

2012年度開講内容

前期<6日間(15科目:2単位)*一部を除き1日3科目>

■2012年4月22日(日)9:30~15:10【3科科目】

- ・皮膚病：獣医皮膚科の基礎知識
講師：安川邦美（山陽動物医療センター）
- ・症例検討(1)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(1)：内科的疾患の検討

■2012年5月27日(日)9:30~15:10【3科科目】

- ・腫瘍：小動物におけるがん治療戦略—がんへの集学的治療—
講師：伊藤 博（東京農工大学）

- ・症例検討(2)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(2)：内科的疾患の検討

■2012年7月29日(日)9:30～15:10【3科目】

- ・肝臓病：肝臓腫瘍外科の最前線と周術期管理 講師：小出和欣（小出動物病院）
- ・症例検討(3)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(3)：内科的疾患の検討

■2012年8月26日(日)9:30～15:10【3科目】

- ・神経病：犬猫のてんかん発作への対応 講師：田村慎司（たむら動物病院）
- ・症例検討(4)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(4)：内科的疾患の検討

■2012年9月16日(日)9:30～15:10【3科目】

- ・ハムスター学：ハムスターの入院管理 講師：藤原 明（フジワラ動物病院）
- ・心疾患：私の闘病生活 講師：藤原 明（フジワラ動物病院）
- ・症例検討(5)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(5)：内科的疾患の検討

後期<4日間（15科目：2単位）*一部を除き1日4科目>

■2012年10月28日(日)9:30～15:10【3科目】

- ・ペット産業：健康な伴侶動物を提供するための検疫・検査体制
講師：筒井敏彦（AHB インターナショナル）
- ・症例検討(1)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(1)：内科的疾患の検討

■2013年1月20日(日)9:30～15:10【3科目】

- ・循環器：循環器薬の基本的な使い方 講師：山根 剛（米子動物医療センター）
- ・症例検討(2)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(2)：内科的疾患の検討

■2013年2月24日(日)9:30～16:50【4科目】

- ・ウサギ学：ウサギの生殖器疾患（A） 講師：加藤 郁（加藤どうぶつ病院）
- ・ウサギ学：ウサギの生殖器疾患（B） 講師：加藤 郁（加藤どうぶつ病院）
- ・症例検討(3)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(3)：内科的疾患の検討

■2013年3月24日(日)9:30～16:50【4科目】

- ・造血器の腫瘍：一次診療の現場で知っておきたい造血器腫瘍の基礎知識
－慢性骨髄増殖性疾患－（A）
講師：下田哲也（山陽動物医療センター）
- ・造血器の腫瘍：一次診療の現場で知っておきたい造血器腫瘍の基礎知識

－慢性骨髄増殖性疾患－（B）

講師：下田哲也（山陽動物医療センター）

- ・症例検討(4)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(4)：内科的疾患の検討

2013年度開講内容

前期<5日間（15科目：2単位）>

■2013年4月21日(日)9:30～15:10【3科目】

- ・内：副腎皮質機能亢進症の診断と治療 講師：白永伸行（シラナガ動物病院）
- ・症例検討(1)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(1)：内科的疾患の検討

■2013年5月26日(日)9:30～15:10【3科目】

- ・再生医療：再生医療、医学から獣医学へ、そして獣医学から医学へ
講師：伊藤典彦（東京工業大学）

- ・症例検討(2)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(2)：内科的疾患の検討

■2013年7月28日(日)9:30～15:10【3科目】

- ・整形：橈尺骨骨折－プレート固定を中心に－
講師：櫻田 晃（さくらだ動物病院）

- ・症例検討(3)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(3)：内科的疾患の検討

■2013年8月25日9:30～15:10【3科目】

- ・血液：一次診療の現場で知っておきたい造血器腫瘍の基礎知識
－慢性骨髄増殖性疾患－ 講師：下田哲也（山陽動物医療センター）
- ・症例検討(4)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(4)：内科的疾患の検討

■2013年9月29日9:30～15:10【3科目】

- ・眼科：眼が痛い 講師：山形静夫（山形動物病院）
- ・症例検討(5)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(5)：内科的疾患の検討

後期<4日間（15科目：2単位）*一部を除き1日4科目>

■2013年10月27日(日)9:30～16:50【4科目】

- ・外科1：犬猫の門脈体循環シャントの診断 講師：小出和欣（小出動物病院）

- ・外科 2：犬猫の門脈体循環シャントの治療 講師：小出和欣（小出動物病院）
- ・症例検討(1)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(1)：内科的疾患の検討

■2014年1月26日(日)9:30～15:10【3科目】

- ・循環器：循環器薬の基本的な使い方 講師：山根 剛（動物臨床医学研究所）
- ・症例検討(2)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(2)：内科的疾患の検討

■2014年2月16日(日)9:30～16:50【4科目】

- ・エキゾチック哺乳類の診療 1：診療対象動物と身体検査
講師：加藤 郁（加藤どうぶつ病院）
- ・エキゾチック哺乳類の診療 2：診断と治療
講師：加藤 郁（加藤どうぶつ病院）
- ・症例検討(3)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(3)：内科的疾患の検討

■2014年3月23日(日)9:30～16:50【4科目】

- ・循環器 1：インターベンションによる循環器疾患の治療 1」
講師：高島一昭（動物臨床医学研究所）
- ・教育講演：循環器 2「インターベンションによる循環器疾患の治療 2」
講師：高島一昭（動物臨床医学研究所）
- ・症例検討(4)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(4)：内科的疾患の検討

2014年度開講内容

前期<4日間（15科目：2単位）*一部を除き1日4科目>

■2014年4月27日(日)9:30～15:10【3科目】

- ・眼科：白内障手術の症例選択と注意点 講師：山形静夫（山形動物病院）
- ・症例検討(1)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(1)：内科的疾患の検討

■2014年5月18日(日)9:30～16:50【4科目】

- ・麻酔：麻酔プロトコールと麻酔薬 第1部
講師：北尾貴史（動物メディカルセンター）
- ・麻酔：麻酔プロトコールと麻酔薬 第2部
講師：北尾貴史（動物メディカルセンター）
- ・症例検討(2)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(2)：内科的疾患の検討

■2014年7月27日(日)9:30~16:50【4科目】

- ・血液：免疫介在性血球減少症の治療 第1部
講師：下田哲也（山陽動物医療センター）
- ・血液：免疫介在性血球減少症の治療 第2部
講師：下田哲也（山陽動物医療センター）
- ・症例検討(3)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(3)：内科的疾患の検討

■2014年8月24日(日)9:30~16:50【4科目】

- ・整形外科：良くある整形外科手術に手を出すにあたって！ 第1部
講師：櫻田 晃（さくらだ動物病院）
- ・整形外科：良くある整形外科手術に手を出すにあたって！ 第2部
講師：櫻田 晃（さくらだ動物病院）
- ・症例検討(4)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(4)：内科的疾患の検討

後期<5日間（15科目：2単位）>

■2014年9月21日(日)9:30~15:10【3科目】

- ・消化器：肝外胆道系疾患の診断と治療 講師：小出和欣（小出動物病院）
- ・症例検討(1)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(1)：内科的疾患の検討

■2014年10月26日(日)9:30~15:10【3科目】

- ・神経：CTおよびMRI検査を用いた脊髄疾患の診断と予後判定
講師：柄 武志（鳥取大学）
- ・症例検討(2)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(2)：内科的疾患の検討

■2015年1月25日(日)9:30~15:10【3科目】

- ・循環器：心検査のポイント（画像検査を中心に）
講師：山根 剛（米子動物医療センター）
- ・症例検討(3)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(3)：内科的疾患の検討

■2015年2月22日(日)9:30~15:10【3科目】

- ・循環器：心臓を中心とした胸部レントゲンの読み方
講師：高島一昭（動物臨床医学研究所）
- ・症例検討(4)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(4)：内科的疾患の検討

■2015年3月29日(日)9:30~15:10【3科目】

- ・エキゾチックペット：ウサギの緊急疾患／胃拡張症について 内科治療
講師：加藤 郁（加藤どうぶつ病院）
- ・症例検討(5)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(5)：内科的疾患の検討

2015年度開講内容

前期<4日間(15科目:2単位)*一部を除き1日4科目>

■2015年4月26日(日)9:30~15:10【3科目】

- ・教育：臨床獣医学を志す君達へ 講師：山根義久（動物臨床医学研究所）
- ・症例検討(1)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(1)：内科的疾患の検討

■2015年5月24日(日)9:30~16:50【4科目】

- ・腎泌尿器：猫の慢性腎不全の診断と治療 第1部
講師：桑原康人（クワハラ動物病院）
- ・腎泌尿器：猫の慢性腎不全の診断と治療 第2部
講師：桑原康人（クワハラ動物病院）
- ・症例検討(2)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(2)：内科的疾患の検討

■2015年7月26日(日)9:30~16:50【4科目】

- ・血液：血液塗抹から手術適応症例をみつける 第1部
講師：下田哲也（山陽動物医療センター）
- ・血液：血液塗抹から手術適応症例をみつける 第2部
講師：下田哲也（山陽動物医療センター）
- ・症例検討(3)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(3)：内科的疾患の検討

■2015年8月23日(日)9:30~16:50【4科目】

- ・整形外科：整形外科手術の基礎 ピンニングを中心に… 第1部
講師：櫻田 晃（さくらだ動物病院）
- ・整形外科：整形外科手術の基礎 ピンニングを中心に… 第2部
講師：櫻田 晃（さくらだ動物病院）
- ・症例検討(4)：外科的疾患の検討
- ・症例検討(4)：内科的疾患の検討

- 平成 22 年度〔前期〕 獣医臨床において症例報告が何故重要か？
- 平成 22 年度〔後期〕 犬も高齢化時代を迎えるとともに、高齢動物特有の疾病が増加している。高齢犬特有の疾病をいくつか取り上げ、解説せよ。

- 平成 23 年度〔前期〕 動物医療の発展に大動物診療と小動物診療はどうあるべきか
- 平成 23 年度〔後期〕 動物愛護管理法の見直しが今年度中に終了し、次年度 6 月より施行予定であります、その内容について考えを述べて下さい

- 平成 24 年度〔前期〕 チーム医療 動物看護師の必要性和役割
- 平成 24 年度〔後期〕 「現状の獣医学教育（又は動物看護学教育）は、昨年よりスタートした共同獣医学科、共同獣医学部のもと大きく変貌しつつあり、かつ看護師の国家資格化に向けても同様であります。自分が過去に受けた教育について振り返り、今後の獣医学教育（or 動物看護学教育）はどうあるべきかについて記述して下さい。」

- 平成 25 年度〔前期〕 我国における動物医療の発展にめざましいものがあるが、動物の福祉と愛護の精神は欧米に比較し醸成されているとはいえない状況にある。その両者の調和がとれてこそ人も動物も快適な環境が維持されるのであるが、23 年度の殺処分数（犬、猫）は、一時より減ったとはいえ 174,742 頭であり、さらに殺処分^ぞ0 を目標に努力を傾注する必要がある。今後、目標達成のためにはどのような活動展開が考えられるか記述せよ。
- 平成 25 年度〔後期〕 国内外で近年大きな問題となっている動物由来感染症（例：重症熱性血小板減少症候群、日本紅斑熱 等）への獣医師としての対応について

- 平成 26 年度〔前期〕 近年、国内飼育の家畜と伴侶動物の減少は著しい。この状況下で PPT(環太平洋戦略的経済連携協定) 参入となると、動物業界に与える影響はどのようなことが考えられますか。
- 平成 26 年度〔後期〕 近年の犬・猫等の伴侶動物（特に犬）の飼育頭数の減少傾向は急速に進展しつつある。この要因は、経済状況の悪化や高齢化社会等が考えられるが、動物不在の獣医学の発展は望むべくもない。臨床獣医学の分野に身をおく者として、この現象を如何に捉え、また、その対応策があれば記述して下さい。

- 平成 27 年度〔前期〕 国内を問わず、企業が動物診療施設をチェーン店化し、その近隣の同様施設とトラブルになることが問題視されていますが、これらの問題解決のためには今後どのような対応が考えられますか。